

や・い・は・ち トピックス

は
が

地域が支えた国際交流 野原小で30周年記念式典



9月19日(土)、野原小学校で、オーストラリアのアイアンサイド小学校との交流30周年記念式典が行われました。

野原小とアイアンサイド小は、隔年で相互の学校を訪問し、国際交流を深めています。現在は保護者や地域住民によって組織されたNJA(野原日豪親善交流会)がこの交流を推進しています。

今年は80名を迎え、校区内外の39家庭でホームステイを受け入れました。受け入れ家庭では、事前の手紙や写真の交換、プレゼントの準備、食事の献立をあれこれ考えながら心を



クラスに分かれて交流活動
習字の手ほどきはうまくできたかな?



一輪車で大騒ぎ!
いっしょに遊ぶことが一番の国際交流です!?

遊び出す子どもたちです。

様々な交流活動の中で、野原小6年生は、プログラムごとに勉強してきた英語でスピーチをこなしていきます。

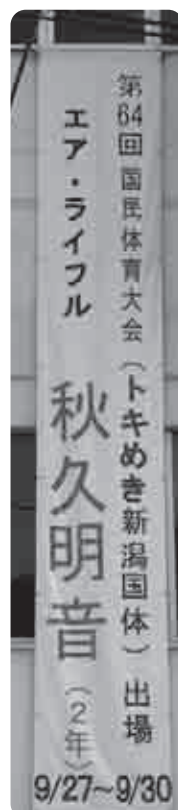
「交流のねらいは、大人も子どももまず人間同士がふれあい、相互の文化の良さを学びあうこと」と、NJAの植田茂会長。この交流は、役員や教職員の力、そして何より、地域の暖かい理解と支援があつてこそその成果です。来年は野原小の子どもたちがオーストラリアへ行きます。まもなく、その準備が始まります。

(本部…可藤和成)

ち
くさ

千種高校から

エアライフルで国体出場!



センターちくさに掲げられた応援幕

日本一小さな普通科高校である兵庫県立千種高等学校から、ライフル射撃競技で秋久明音さん(2年)が国体に出場されました。

ライフル射撃を始めたきっかけは、昨年の文化祭で初体験したチームライフル。今年2月よりライフル同好会として活動がはじまり、7月に全国高校選手権大会、8月に近畿ブロック大会を経ての国体出場です。

10MS40JMという種目は、空気銃で10メートル離れた的を、40発立射する競技。どれだけ正確に標的を射撃できるか競います。中心に当たれば10点ですが、とても集中力が必要です。

「自己ベスト(公式記録352



競技中の秋久さん(右)

点)の更新を目標に大会に臨んだ秋久さん。みごと362点と来年につながる結果を出せました。千種高校の活性化にも一役担う頑張りをこれからも期待します。

(千種支部 小原志のぶ)

読者の感想より

大変でしたね。山崎も一部大変な所やお家がありました。皆様頑張っておられます。一宮町の方々もどうかお体にお気をつけ頑張ってください。お見舞い申し上げます。(山崎町 女性)